

防虫科学

季刊

第 39 卷—III

原 著

15. 銚田産 diazinon 抵抗性イエバエの抵抗性の機構に関する研究 III.
Glutathione-S-transferase による diazinon の分解
正野俊夫……75
16. 銚田産 diazinon 抵抗性イエバエの抵抗性の機構に関する研究 IV.
Mixed-function oxidase による diazinon の代謝
正野俊夫……80
17. ネズミの食性に関する研究 II. ドブネズミの食物嗜好性における食物消費と
栄養摂取の関係
永沼清久・池田安之助……85
18. インドネシア産イエバエの数種殺虫剤に対する感受性について
林 晃史・甘日出正美・篠永 哲・加納六郎・J. S. Saroso・I. Koiman……88
19. 尼崎市におけるアカイエカ幼虫の殺虫剤感受性について
向 曉・十河恵一郎・林 晃史……91
20. ジャガイモガの交尾行動における鱗粉の役割
小野知洋……93
21. 蚊取線香中のアレスリンの定量
高野武之助……96
- 抄 録
……84, 95, 103, 104

財団法人 防虫科学研究所

京 都 大 学 内

昭和 49 年 8 月

防 虫 科 学

編 集 委 員

主 幹 武 居 三 吉

藤 田 稔 夫 深 海 浩 井 上 雄 三 石 井 象 二 郎
中 島 稔 高 橋 史 樹 高 橋 正 三 内 田 俊 郎

投 稿 規 定

1. 防虫科学に関する研究論文、綜説ならば誰でも投稿できる。ただし原稿の取捨は編集委員会できめる。また原稿の字句については加除修正を行なうことがある。
2. 論文は邦文または欧文とし、邦文には欧文の、欧文には邦文の要約を添える。表題、著者名および所属機関名などは邦文・欧文両者を併記する。
3. 邦文原稿は原則としてA4判横書原稿用紙(400字詰)を用いる。欧文はタイプライター用紙にタイプライターでダブルスペースに打つ。邦文原稿の写真、表および図の説明は欧文とする。
4. 邦文は平かな、新かな使いとし、欧語音読には片かなを用いる。ただし物質名、人名などは欧文のままとする。図は白紙または青線方眼紙にいいいに墨書し、原稿とは別紙とする。
5. 動植物の学名の下には_____を付ける(例: *Chilo suppressalis* イタリックとなる)。和名は片かなを用いる。数字はすべてアラビア数字を用い、数量の単位はメートル法による。単位および術語の略字は本既刊誌を参照されたい。
6. 句読点、カッコは1画を与える。ハイフンは区画の罫線の上に明瞭に書く。本文中の引用文献番号はカッコを付けて肩に小さく書く。文献は論文の最後に通し番号の順に列記し、著者名、雑誌名(書名)、巻、頁、年号の順に記し、巻数には~~~~~を付ける(例: (1) Stevenson E. and G. R. Wyatt : Arch. Biochem. Biophys. 99, 65, 1966)。邦文雑誌名は日本化学総覧、欧文雑誌名は Chemical Abstracts, Biological Abstracts の規定の略名に従う。
7. 校正は原則として初校に限り著者が行なう。
8. 原稿の送付には送状を付し、発送年月日、連絡先、原稿枚数、写真および図・表数、別刷希望数などを記入する。原稿の郵送は書留とし、校正は速達とする。
投稿その他の編集に関する連絡は下記にされたい。

606 京都市左京区北白川 京都大学農学部
農薬研究施設 石井象二郎 (075) 751-2111 内 6 3 0 5

賛助会員

小林政株式会社
三共株式会社
住友化学工業株式会社

大日本除虫菊株式会社
武田薬品工業株式会社

維持会員

アース製薬株式会社
宇部興産株式会社
大阪化成株式会社
大塚製薬株式会社ゾエコン課
科研化学株式会社
化研工業株式会社
花王石鹼株式会社
協和醗酵工業株式会社
キング化学株式会社
クミアイ化学工業株式会社
呉羽化学工業株式会社
サンケイ化学株式会社
三洋化成工業株式会社
塩野義製薬株式会社
大正製薬株式会社
高砂香料工業株式会社
株式会社立石春洋堂
トモノ農薬株式会社

長岡駆虫剤製造株式会社
長瀬産業株式会社
日産化学工業株式会社
日本化薬株式会社
日本曹達株式会社
日本特殊農薬製造株式会社
日本農薬株式会社
フマキラー株式会社
北興化学工業株式会社
三笠化学工業株式会社
三菱瓦斯化学株式会社
八洲化学工業株式会社
株式会社柳本製作所
山本農薬株式会社
吉富製薬株式会社
ライオンかとり株式会社

(五十音順)

昭和49年8月20日印刷 昭和49年8月31日発行

防虫科学 第39巻—III 定価 ¥ 1000.

個人会員年2000円 団体会員年3500円 外国会員年U.S. \$ 10

編集者 藤田稔夫 石井象二郎
606 京都市左京区北白川 京都大学農学部

発行所 財団法人 防虫科学研究所
京都市左京区北白川 京都大学農学部内
(振替口座・京都5899)

印刷所 昭和印刷
京都市下京区猪熊通七条下ル

“SCIENTIFIC PEST CONTROL”
BOTYU-KAGAKU

Bulletin of the Institute of Insect Control

Editor Sankichi TAKEI

Editorial Board

Toshio FUJITA, Hiroshi FUKAMI, Yuzo INOUE, Shoziro ISHII,
 Minoru NAKAJIMA, Fumiki TAKAHASHI, Shozo TAKAHASHI, Syunro UTIDA

CONTENTS

Originals

15. Studies on the Mechanisms of Resistance in Diazinon Resistant Hokota Strain of Houseflies. III. Diazinon Degradation by Glutathione-S-transferase.
 Toshio SHONO.....75
16. Studies on the Mechanism of Resistance in Diazinon Resistant Hokota Strain of Houseflies. IV. Diazinon Metabolism by Mixed-Function Oxidase.
 Toshio SHONO.....80
17. Studies on the Food Habits of Rats II. Relation Between Food Consumption and Caloric Intake in the Food Preferences of Norway Rats
 Kiyohisa NAGANUMA and Yasunosuke IKEDA.....85
18. The Resistant Level of the Houseflies to Several Synthetic Insecticides in Indonesia.
 Akifumi HAYASHI, Masayoshi HATSUKADE, Satoshi SHINONAGA,
 Rokuro KANO, J. Sulianti Saroso and Iskak Koiman88
19. The Resistant Level of the Larvae of Pale House Mosquito, *Culex pipiens pallens* Coquillett to Several Synthetic Insecticides in Amagasaki City.
 Satoru MUKAI, Keiichiro SOGO and Akifumi HAYASHI.....91
20. The Scale as a Factor Inducing Male's Copulation Attempt in the Potato Tuber Moth. *Phthorimaea operculella* (Lepidoptera : Gelechiidae)
 Tomohiro ONO.....93
21. Estimation of Allethrin in Mosquito Coils.
 Takenosuke TAKANO.....96
- Abstracts**84, 95, 103, 104

Published by
 THE INSTITUTE OF INSECT CONTROL
 Kyoto University
 Kyoto, Japan